

## 6 . 環境保全活動を行う民間団体への参加（問6）

### 6 - 1 参加の有無

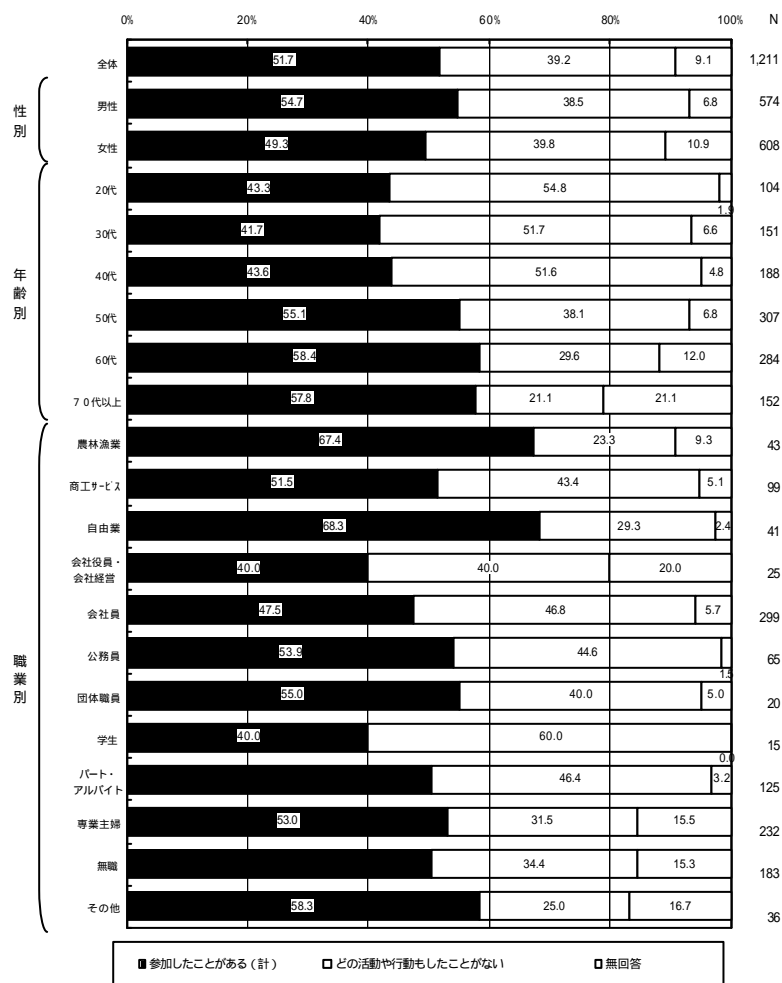
環境保全活動を行う民間団体にこれまで参加したことがある人は52%を占める。参加の比率は男女で差はなく、年齢が上がるほど積極的になる。また、農林漁業や自由業に従事している人が積極的に参加している。

環境保全に関する活動を行う民間団体へこれまで参加したことがある人は52%である。男性の参加経験率は55%で女性（49%）よりもやや高い。

年齢別にみると、概して高齢者ほど増加する傾向にあり、参加したことがある人の比率は60代・70代以上で58%と高い。

職業別にみると、参加したことがある人の比率が最も高いものは自由業（68%）、次いで農林漁業（67%）である。これに対し、比率が低いものは会社役員・会社経営、学生（ともに40%）である。

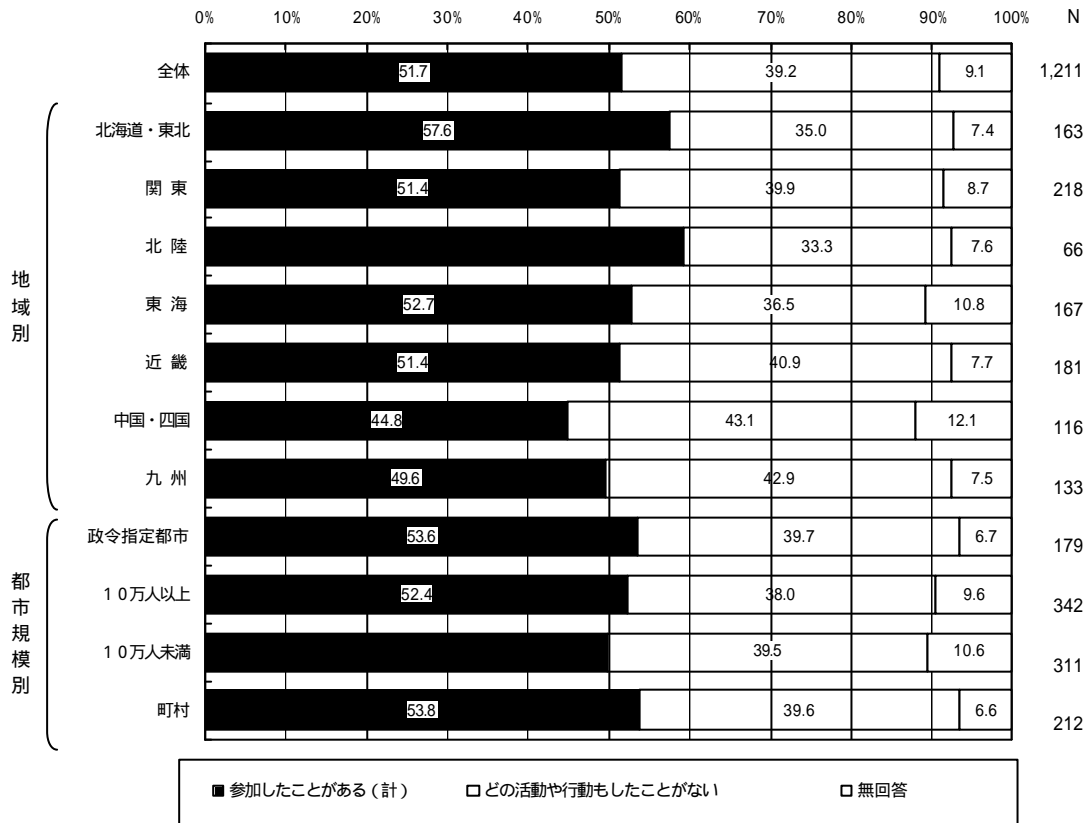
【図表 6-1-1】環境保全団体等への参加の有無（性別、年齢別、職業別）



地域別にみると、参加したことがある人の比率が最も高いのは北陸で 59%、一方、最も低いのは中国・四国で 45%となっている。

都市規模別の参加率には大きな差がなく、各都市とも 50~54%の範囲内にある。

【図表 6-1-2】環境保全団体等への参加の有無（地域別、都市規模別）

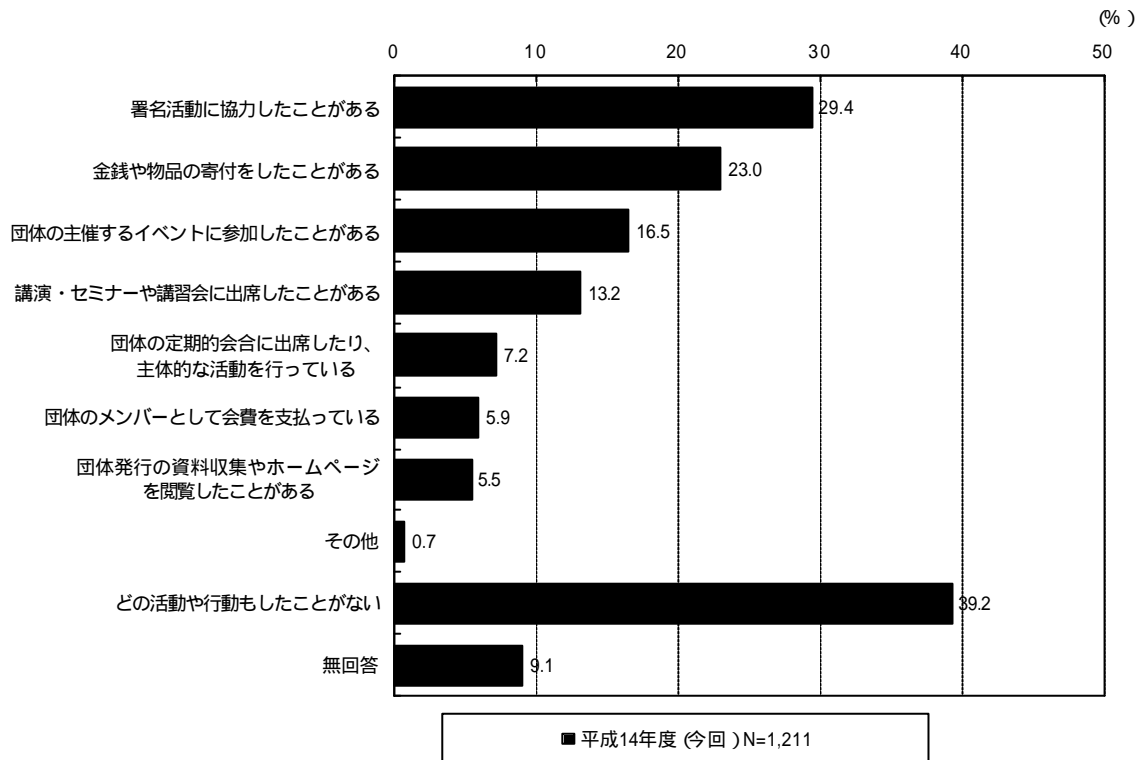


## 6 - 2 参加の内容

参加の内容としては、「署名活動に協力したことがある」「金銭や物品の寄付をしたことがある」等が多いが、年齢・職業により大きく異なる。

参加の内容としては、「署名活動に参加したことがある」が最も多く、29%を占める。次いで「金銭や物品を寄付したことがある」の23%、「団体の主催するイベントに参加したことがある」の17%である。他はいずれも15%以下である。

【図表 6-2-1】環境保全団体等への参加の内容（全体、複数回答）



性別にみると、男性の方が女性よりも参加率が5%以上高い項目は「団体の主催するイベントに参加したことがある」である。他は男女間で顕著な差はなく、全体とほぼ同じ傾向を示している。

年齢別にみると、高年齢ほど「団体の主催するイベントに参加したことがある」「講演・セミナーや講習会に出席したことがある」の比率が高い傾向にあるほか、「署名活動に協力したことがある」が50代・60代・70代以上で31~35%と高くなっている。

職業別で参加率が全体平均よりも10%以上高い項目は次のとおり。

- 農林漁業 「団体の主催するイベントに参加したことがある」  
「講演・セミナーや講習会に出席したことがある」
- 自由業 「署名活動に協力したことがある」  
「金銭や物品の寄付をしたことがある」
- 会社役員・会社経営 「講演会・セミナーや講習会に出席したことがある」

【図表 6-2-2】環境保全団体等への参加の内容（性別、年齢別、職業別：複数回答）

	性別			年齢別							職業別												
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他		
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36		
団体の定期的会合に出席したり、主体的な活動を行っている	7.2	8.7	5.6	2.9	2.0	3.7	5.9	11.6	13.2	16.3	4.0	14.6	8.0	4.3	1.5	10.0	-	4.8	6.0	13.1	13.9		
団体のメンバーとして会費を支払っている	5.9	6.6	5.6	2.9	2.0	3.7	6.8	9.2	7.9	7.0	9.1	17.1	8.0	3.3	1.5	10.0	-	5.6	6.0	7.7	8.3		
講演・セミナーや講習会に出席したことがある	13.2	15.5	11.7	3.8	6.0	6.9	14.3	19.7	22.4	23.3	11.1	19.5	24.0	12.4	10.8	15.0	6.7	11.2	11.6	17.5	8.3		
金銭や物品の寄付をしたことがある	23.0	24.2	21.9	22.1	14.6	18.1	23.8	28.5	25.7	30.2	28.3	36.6	12.0	18.7	21.5	30.0	20.0	21.6	23.3	23.0	27.8		
署名活動に協力したことがある	29.4	31.5	28.1	22.1	25.8	24.5	31.9	34.5	30.9	27.9	25.3	46.3	16.0	28.1	38.5	30.0	26.7	28.8	30.6	30.1	30.6		
団体の主催するイベントに参加したことがある	16.5	19.5	14.0	7.7	8.6	12.8	19.9	20.4	21.1	30.2	22.2	22.0	16.0	14.4	13.8	20.0	13.3	12.8	15.9	16.9	19.4		
団体発行の資料収集やホームページを閲覧したことがある	5.5	5.9	5.3	8.7	7.9	3.7	6.5	5.3	2.0	2.3	6.1	12.2	-	8.4	7.7	5.0	6.7	2.4	5.2	2.7	5.6		
その他	0.7	0.3	0.8	-	1.3	1.6	0.3	-	0.7	2.3	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	0.4	-	-		
どの活動や行動もしたことがない	39.2	38.5	39.8	54.8	51.7	51.6	38.1	29.6	21.1	23.3	43.4	29.3	40.0	46.8	44.6	40.0	60.0	46.4	31.5	34.4	25.0		
無回答	9.1	6.8	10.9	1.9	6.6	4.8	6.8	12.0	21.1	9.3	5.1	2.4	20.0	5.7	1.5	5.0	-	3.2	15.5	15.3	16.7		

単位：%

地域別では、北海道・東北で「署名活動に協力したことがある」(36%)「金銭や物品の寄付をしたことがある」(28%)「団体の主催するイベントに参加したことがある」(21%)の比率がやや高くなっている。都市規模別には顕著な特徴はみられなかった。

【図表 6-2-3】環境保全団体等への参加の内容(地域別、都市規模別：複数回答)

単位 :%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数(N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
団体の定期的会合に出席したり、主体的な活動を行っている	7.2	8.6	10.1	4.5	6.0	5.0	6.0	6.8	6.7	6.1	8.4	7.1
団体のメンバーとして会費を支払っている	5.9	8.6	6.9	6.1	4.8	5.0	4.3	5.3	6.7	5.8	6.8	4.2
講演・セミナーや講習会に出席したことがある	13.2	11.0	13.8	13.6	14.4	12.7	12.1	15.0	12.8	12.9	13.5	13.7
金銭や物品の寄付をしたことがある	23.0	27.6	22.0	19.7	19.8	21.5	24.1	27.8	19.6	22.8	25.1	24.5
署名活動に協力したことがある	29.4	36.2	29.8	33.3	27.5	28.7	28.4	32.3	31.3	32.2	28.3	31.1
団体の主催するイベントに参加したことがある	16.5	20.9	14.7	10.6	16.8	18.8	14.7	15.8	17.9	13.5	17.7	18.9
団体発行の資料収集やホームページを閲覧したことがある	5.5	3.1	7.3	7.6	9.0	6.1	2.6	3.0	3.9	5.3	6.8	6.1
その他	0.7	0.6	0.5	-	0.6	1.1	-	-	0.6	0.6	0.6	-
どの活動や行動もしたことがない	39.2	35.0	39.9	33.3	36.5	40.9	43.1	42.9	39.7	38.0	39.5	39.6
無回答	9.1	7.4	8.7	7.6	10.8	7.7	12.1	7.5	6.7	9.6	10.6	6.6

### 6 - 3 参加頻度

民間団体の環境保全活動への参加頻度は「年2回程度」「年に1回程度」が中心となっているが、自由業や10万人未満の都市では活発な参加がみられる。

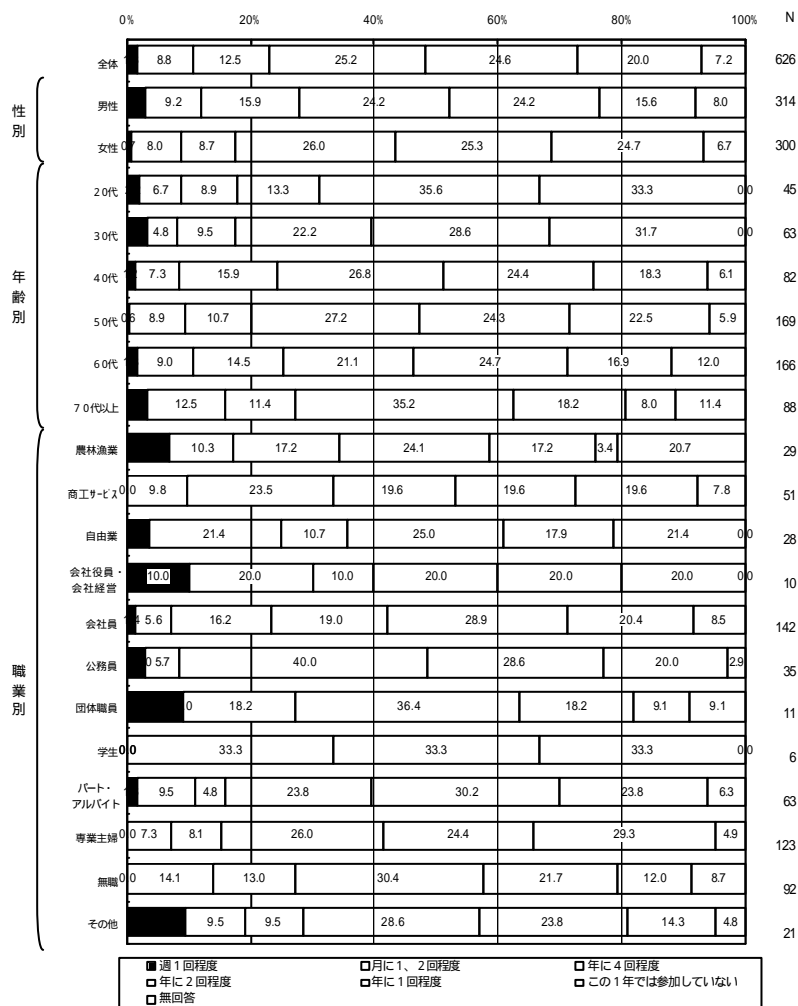
民間団体の環境保全活動参加経験者のこの1年間における参加頻度は、「年に2回程度」「年に1回程度」(各25%)が比較的多く、両者の合計で50%を占める。

性別にみると、男性は「年に4回程度」(16%)がやや多いのに対し、女性は「この1年では参加していない」(25%)がやや多い。

年齢別では、「この1年では参加していない」が20代・30代(33%、32%)、「年に1回程度」が20代(36%)、「年に2回程度」が70代以上(35%)で多くみられる。

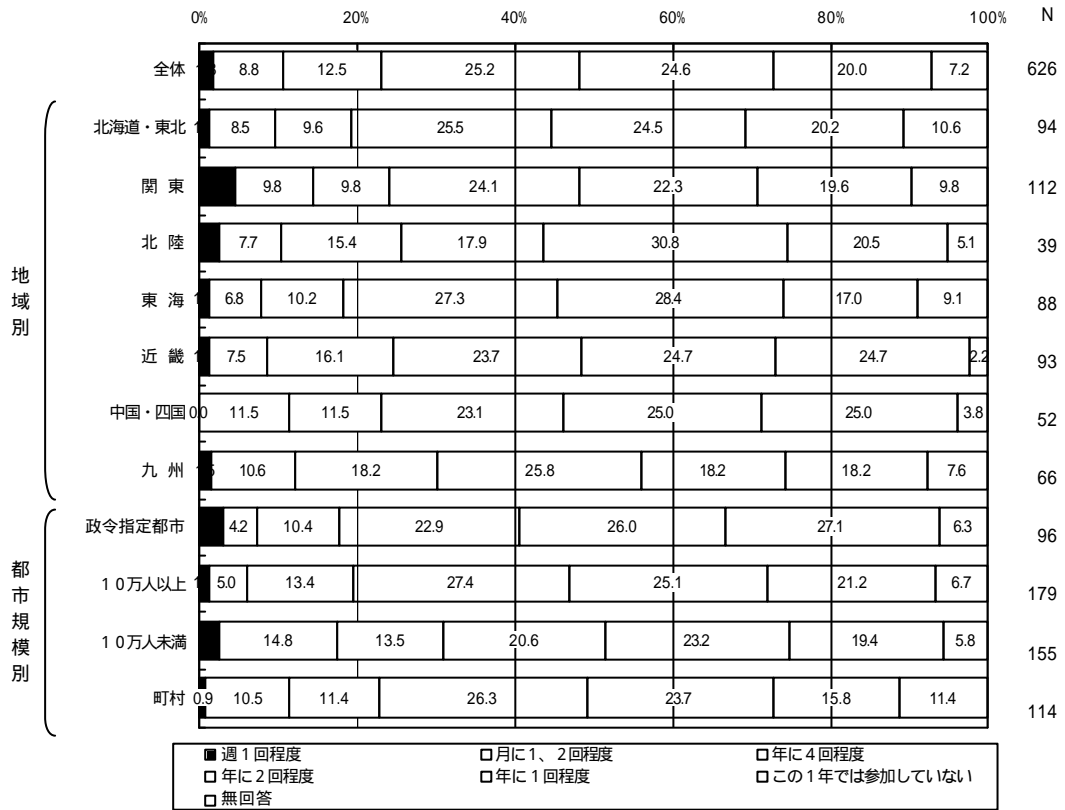
職業別では、自由業、会社役員・会社経営で「月に1、2回程度」(各21%)、公務員で「年に2回程度」(40%)、専業主婦で「この1年では参加していない」(29%)が多い傾向にある。

【図表 6-3-1】環境保全団体への参加頻度(性別、年齢別、職業別：複数回答)



地域別では北陸で「年に1回程度」(30%)がやや多く、都市規模別では10万人未満の都市で「月に1、2回程度」(15%)がやや多くなっている。

【図表 6-3-2】環境保全団体への参加頻度（地域別、都市規模別：複数回答）

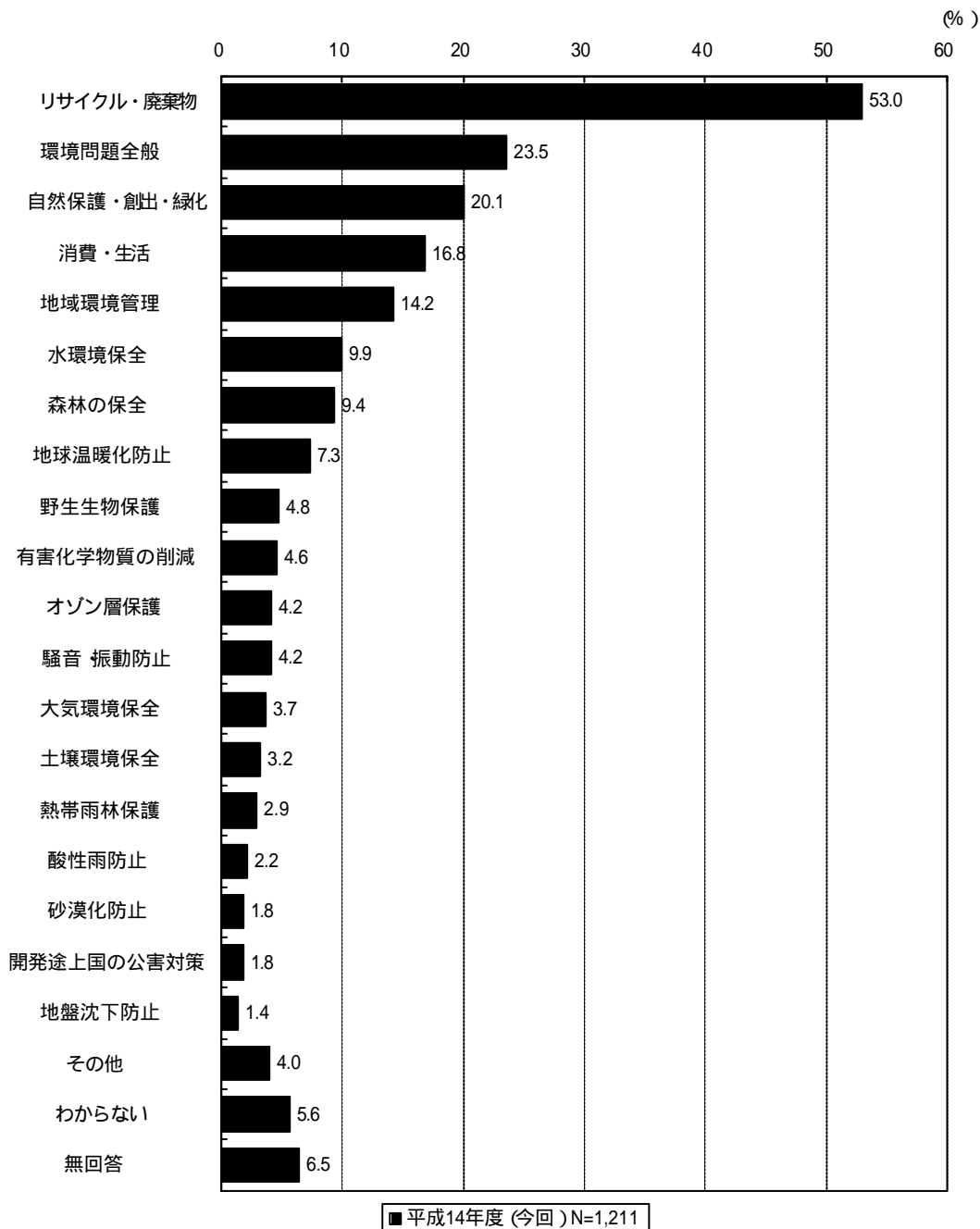


#### 6 - 4 参加の領域

参加の領域としては、「リサイクル・廃棄物」「環境問題全般」「自然保護・創出・緑化」等が多いが、年齢・職業により大きく異なる。

参加の領域としては、「リサイクル・廃棄物」が最も多く、参加したことのある人の53%を占める。次いで「環境問題全般」の24%、「自然保護・創出・緑化」の20%である。他はいずれも20%未満である。

【図表 6-4-1】環境保全団体等への参加の領域（全体：複数回答）





参加の領域について、性別にみると、男性の方が女性よりも実行率が5%以上高い項目は「リサイクル・廃棄物」「環境問題全般」である。他は男女間で顕著な差はなく、全体とほぼ同じ傾向を示している。

年齢別にみると、「森林の保全」は若年層ほど参加の比率が高い傾向にあり、20代では20%を示す。また、20代で「消費・生活」(20%)、60代で「リサイクル・廃棄物」(61%)、「自然保護・創出・緑化」(26%)、「消費・生活」(23%)への参加の比率がやや高い。職業別にみて参加の比率が全体平均よりも10%以上高い項目は次のとおり(但し、母数の小さい会社役員・会社経営、学生は除く)。

- 自由業 「環境問題全般」  
「自然保護・創出・緑化」
- 公務員 「環境問題全般」
- 団体職員 「自然保護・創出・緑化」「地域環境管理」「野生生物保護」「有害化学物質の削減」

【図表 6-4-2】環境保全団体等への参加の領域(性別、年齢別、職業別:複数回答)

	性別		年齢別							職業別												
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他	
調査数(N)	626	314	300	45	63	82	169	166	88	29	51	28	10	142	35	11	6	63	123	92	21	
リサイクル・廃棄物	53.0	55.7	50.3	33.3	41.3	48.8	57.4	60.8	53.4	55.2	60.8	46.4	60.0	54.2	34.3	45.5	33.3	57.1	48.0	60.9	57.1	
環境問題全般	23.5	26.4	21.0	28.9	22.2	19.5	23.7	25.9	22.7	24.1	29.4	39.3	20.0	20.4	40.0	18.2	50.0	19.0	19.5	21.7	33.3	
自然保護・創出・緑化	20.1	22.0	18.7	13.3	14.3	17.1	20.7	25.9	19.3	20.7	23.5	35.7	10.0	21.1	8.6	36.4	16.7	14.3	17.1	23.9	23.8	
消費・生活	16.8	14.3	19.3	20.0	6.3	9.8	16.6	22.9	17.0	13.8	17.6	10.7	-	13.4	2.9	18.2	50.0	23.8	22.0	17.4	14.3	
地域環境管理	14.2	14.3	13.3	6.7	6.3	17.1	14.2	15.1	17.0	20.7	17.6	17.9	-	9.9	11.4	36.4	-	12.7	9.8	19.6	23.8	
水環境保全	9.9	12.1	8.0	15.6	4.8	8.5	10.7	9.0	13.6	24.1	11.8	10.7	20.0	8.5	11.4	18.2	16.7	7.9	6.5	10.9	9.5	
森林の保全	9.4	9.9	9.3	20.0	11.1	8.5	9.5	9.6	4.5	10.3	9.8	10.7	-	10.6	17.1	18.2	33.3	6.3	4.9	9.8	19.0	
地球温暖化防止	7.3	8.6	6.3	8.9	6.3	4.9	9.5	7.8	5.7	13.8	7.8	7.1	10.0	7.0	5.7	9.1	16.7	11.1	5.7	5.4	9.5	
野生生物保護	4.8	5.4	4.3	11.1	1.6	4.9	4.7	4.8	4.5	3.4	2.0	14.3	-	5.6	5.7	18.2	-	4.8	3.3	4.3	-	
有害化学物質の削減	4.6	4.5	5.0	6.7	4.8	1.2	5.9	5.4	3.4	13.8	2.0	3.6	-	3.5	5.7	27.3	-	6.3	4.1	3.3	4.8	
オゾン層保護	4.2	5.1	3.3	2.2	3.2	2.4	5.3	6.0	2.3	6.9	7.8	-	10.0	6.3	-	-	-	3.2	3.3	3.3	4.8	
騒音・振動防止	4.2	4.1	4.3	6.7	1.6	2.4	3.0	6.0	5.7	6.9	3.9	3.6	-	4.9	2.9	9.1	-	4.8	3.3	3.3	4.8	
大気環境保全	3.7	4.8	2.7	6.7	3.2	-	4.7	5.4	1.1	6.9	5.9	3.6	10.0	4.9	-	-	-	6.3	1.6	2.2	4.8	
土壌環境保全	3.2	3.8	2.7	-	1.6	2.4	5.3	3.6	2.3	13.8	2.0	3.6	-	2.8	2.9	-	-	1.6	3.3	3.3	4.8	
熱帯雨林保護	2.9	2.9	3.0	8.9	3.2	-	2.4	3.6	2.3	3.4	3.9	3.6	-	4.2	2.9	-	16.7	3.2	0.8	1.1	9.5	
酸性雨防止	2.2	2.5	2.0	2.2	-	-	3.0	3.0	3.4	3.4	3.9	-	-	1.4	-	9.1	-	1.6	4.1	1.1	4.8	
砂漠化防止	1.8	2.9	0.7	-	-	1.2	1.8	3.0	2.3	6.9	2.0	-	-	2.8	-	9.1	-	-	0.8	1.1	4.8	
開発途上国の公害対策	1.8	2.2	1.3	4.4	-	-	2.4	2.4	1.1	-	2.0	-	-	1.4	2.9	9.1	-	3.2	1.6	1.1	4.8	
地盤沈下防止	1.4	1.9	1.0	-	-	1.2	1.8	1.8	2.3	3.4	2.0	-	-	2.1	-	-	-	1.6	0.8	1.1	4.8	
その他	4.0	3.8	4.3	6.7	-	6.1	4.7	3.6	3.4	-	-	7.1	10.0	2.1	2.9	-	-	6.3	5.7	5.4	9.5	
わからない	5.6	2.9	8.3	17.8	11.1	3.7	3.0	6.0	1.1	-	5.9	-	10.0	4.2	8.6	-	-	7.9	8.9	4.3	-	
無回答	6.5	6.1	7.0	2.2	1.6	4.9	3.0	9.6	14.8	20.7	5.9	3.6	-	4.2	2.9	-	-	-	10.6	8.7	9.5	

単位:%

地域別では、北海道・東北で「リサイクル・廃棄物」(62%)、東海、近畿で「環境問題全般」(各28%)、中国・四国で「リサイクル・廃棄物(60%)」「自然保護・創出・緑化」(27%)九州で「地球温暖化防止」(14%)への参加の比率がやや高い。

都市規模別では10万人未満の年で「環境問題全般」への参加の比率が29%とやや高い。

【図表 6-4-3】環境保全団体等への参加の領域(地域別、都市規模別：複数回答)

単位 :%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数(N)	626	94	112	39	88	93	52	66	96	179	155	114
リサイクル・廃棄物	53.0	61.7	50.9	33.3	50.0	54.8	59.6	51.5	56.3	49.7	52.9	55.3
環境問題全般	23.5	12.8	22.3	15.4	28.4	28.0	25.0	27.3	20.8	19.6	29.0	21.9
自然保護・創出・緑化	20.1	12.8	23.2	20.5	15.9	16.1	26.9	27.3	14.6	22.9	19.4	19.3
消費生活	16.8	16.0	17.0	15.4	8.0	21.5	21.2	21.2	20.8	15.1	16.1	17.5
地域環境管理	14.2	9.6	14.3	15.4	14.8	16.1	13.5	15.2	13.5	15.1	12.3	14.9
水環境保全	9.9	6.4	14.3	7.7	9.1	15.1	9.6	6.1	9.4	8.9	12.3	10.5
森林の保全	9.4	7.4	8.0	7.7	5.7	10.8	7.7	19.7	11.5	7.8	8.4	11.4
地球温暖化防止	7.3	3.2	8.9	5.1	6.8	8.6	5.8	13.6	7.3	8.9	5.2	8.8
野生生物保護	4.8	2.1	7.1	-	2.3	9.7	5.8	6.1	7.3	4.5	3.2	7.0
有害化学物質の削減	4.6	2.1	5.4	-	4.5	5.4	7.7	7.6	4.2	3.4	4.5	7.9
オゾン層保護	4.2	2.1	4.5	5.1	3.4	5.4	1.9	9.1	5.2	2.8	2.6	8.8
騒音振動防止	4.2	1.1	2.7	5.1	5.7	3.2	7.7	7.6	4.2	5.6	4.5	1.8
大気環境保全	3.7	2.1	4.5	-	3.4	6.5	-	9.1	4.2	4.5	3.2	4.4
土壌環境保全	3.2	1.1	3.6	5.1	5.7	3.2	3.8	1.5	1.0	3.4	1.3	7.9
熱帯雨林保護	2.9	1.1	1.8	2.6	4.5	4.3	1.9	4.5	3.1	1.7	1.9	6.1
酸性雨防止	2.2	1.1	3.6	2.6	1.1	3.2	1.9	3.0	4.2	1.7	0.6	4.4
砂漠化防止	1.8	2.1	1.8	2.6	1.1	2.2	-	3.0	4.2	-	1.9	2.6
開発途上国の公害対策	1.8	-	2.7	-	1.1	2.2	-	4.5	2.1	1.1	1.3	2.6
地盤沈下防止	1.4	1.1	1.8	-	1.1	2.2	1.9	1.5	3.1	0.6	0.6	2.6
その他	4.0	7.4	3.6	5.1	3.4	2.2	3.8	4.5	3.1	5.6	4.5	2.6
わからない	5.6	9.6	3.6	7.7	4.5	5.4	1.9	4.5	6.3	5.0	3.9	7.0
無回答	6.5	7.4	7.1	5.1	6.8	7.5	1.9	6.1	3.1	8.9	7.1	4.4

## 6 - 5 民間団体への参加による環境問題解決貢献度

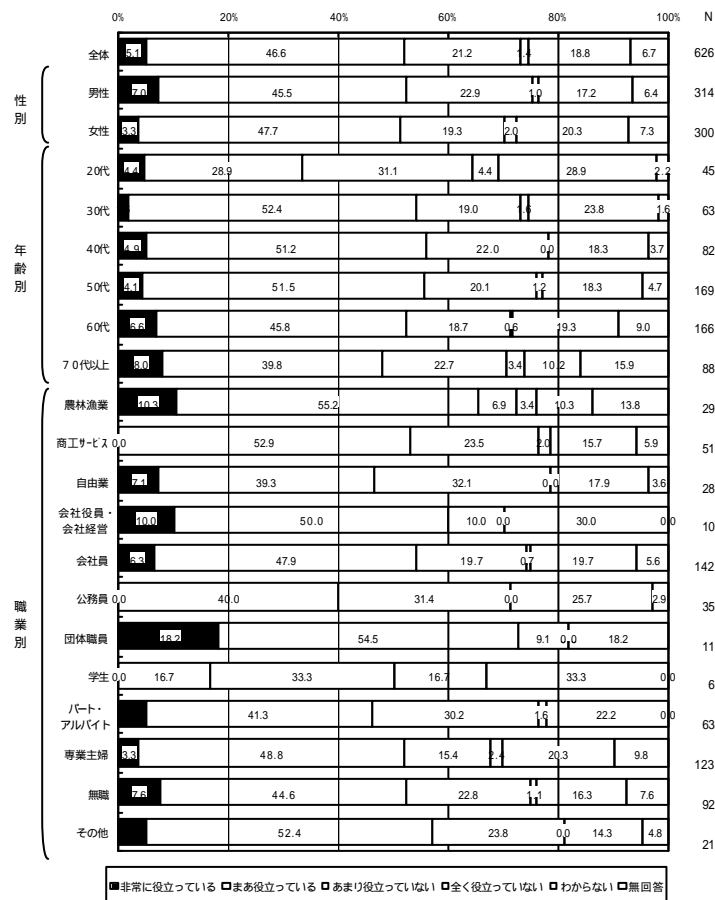
民間団体の環境保全活動参加経験者の 52%は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」と評価している。特にこうした評価は 40 代・50 代で高く、各 56%が「役立っている」としている。

民間団体の環境保全活動に参加したことがある人は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」(「非常に役立っている」と「まあ役立っている」の合計)とみている人が 52%を占め、「役立っていない」とみる人(「あまり役立っていない」と「全く役立っていない」の合計 23%)の 2.3 倍にのぼっている。

性別による差はほとんどない。年齢別にみると、30 代から 60 代は「役立っている」が 52~56%にのぼり、「役立っていない」(19~22%)を大きく上回るが、20 代は「役立っている」の評価(33%)よりも「役立っていない」の評価(36%)の方が高くなっている。

職業別にみると、「役立っている」の比率は農林漁業で 66%と高い。これに対し、自由業、公務員、専業主婦では「役立っていない」が 31~32%とやや高い(会社役員・会社経営、団体職員、学生などは母数が小さいため除外した)。

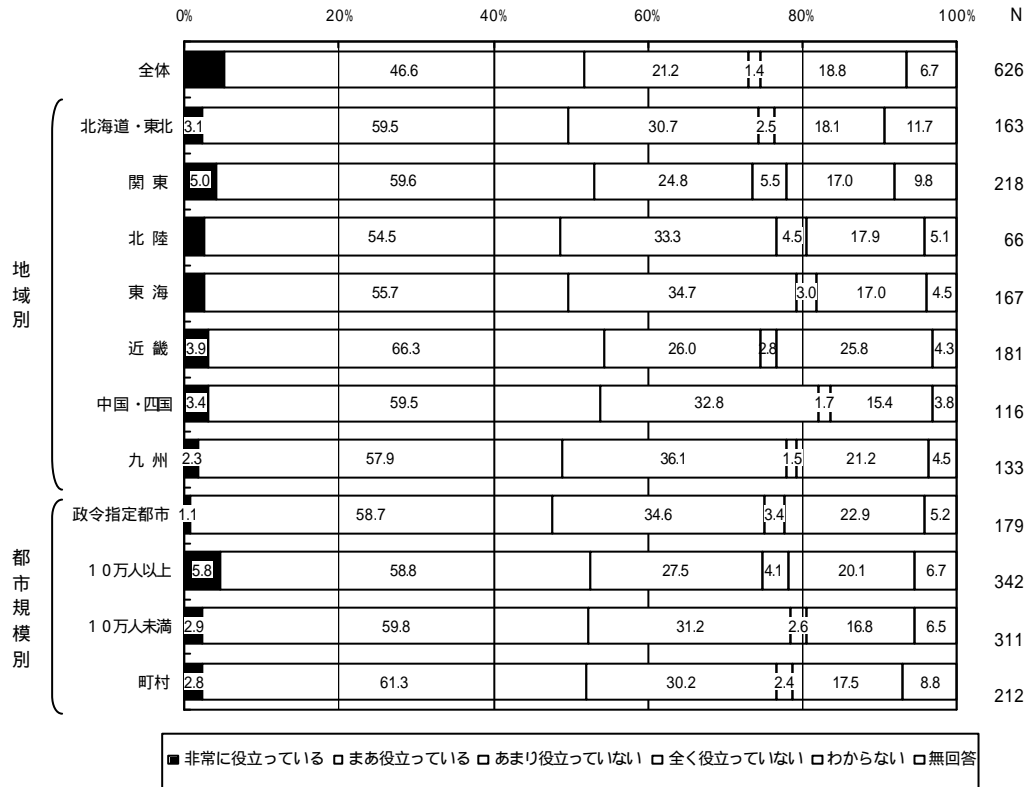
【図表 6-5-1】民間団体への参加による環境問題解決貢献度(性別、年齢別、職業別：複数回答)



地域別では、中国・四国で「役立っている」の比率が60%と高く、北陸で「役立っていない」の比率が31%とやや高い。

都市規模別には顕著な特徴はあらわれていない。

【図表 6-5-2】民間団体への参加による環境問題解決貢献度（地域別、都市規模別：複数回答）

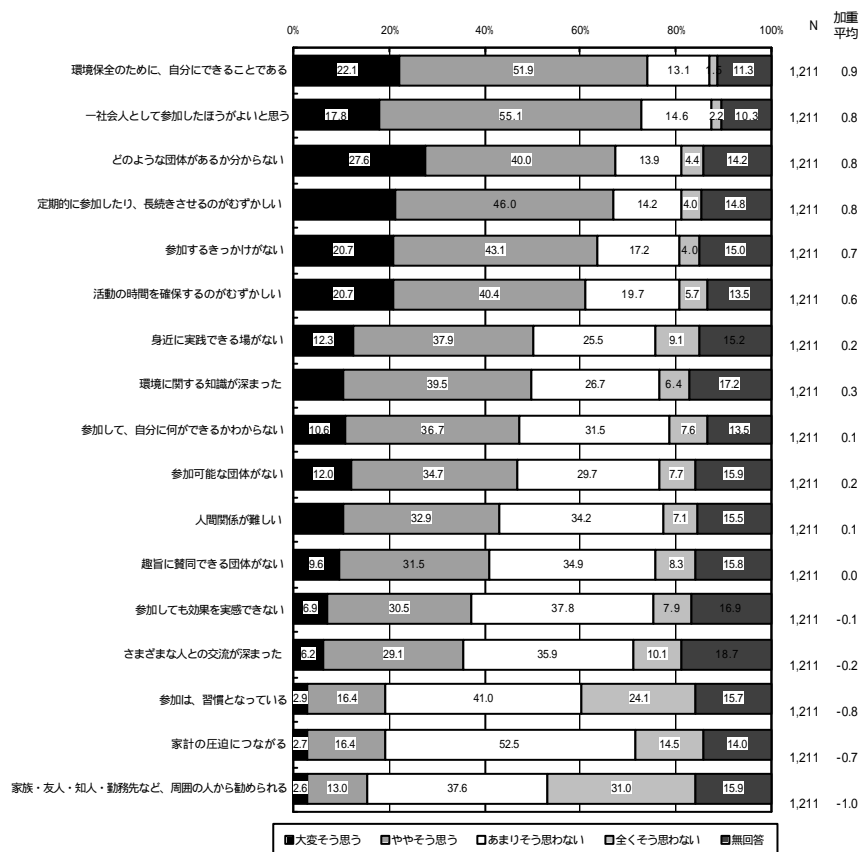


## 6 - 6 環境保全活動を行う民間団体への参加意識

「自分にできること」「社会人として参加したほうがよい」という意識を強く持っているが、現実には「どのような団体があるかわからない」「定期的参加や長続きさせるのが難しい」「きっかけがない」「活動時間がない」「身近に実践できる場がない」といった阻害要因が多い。

環境保全活動を行う民間団体の参加意識については、「環境保全のために自分にできることである」「一社会人として参加したほうがよいと思う」の肯定率（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）が74%、73%と上位を占めた。しかし、「どのような団体があるのかかわからない」「定期的に参加したり、長続きさせるのがむずかしい」「参加するきっかけがない」「活動時間を確保するのがむずかしい」「身近に実践できる場がない」の阻害要因に対する肯定率も50%を超えている。そうした中で、活動への参加を通じて「環境に関する知識が深まった」（50%）「さまざまな人との交流が深まった」（35%）というメリットを得たケースもかなり多くみられる。

【図表 6-6-1】環境保全活動を行う民間団体への参加意識（全体：複数回答）



注) この項の加重平均は、「大変そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「全くそう思わない」に-2点を与えて算出した。

性別にみると、男性は「参加しても効果を実感できない」(41%)、女性は「参加するきっかけがない」(66%)という意識がやや高い。

年齢別にみると、20~40代では「どのような団体があるかわからない」(86~89%)「定期的に参加したり、長続きさせるのが難しい」(83~89%)「参加するきっかけがない」(80~86%)「活動時間を確保するのがむずかしい」(81~87%)「参加して自分に何ができるかわからない」(60~62%)という意識が強い。また、20代・30代で、「参加可能な団体がない」(57%、58%)、20代、40代で「人間関係がむずかしい」(64%、55%)、30代で「身近に実践できる場がない」(70%)、40代で「参加しても効果を実感できない」(47%)という意識も強い。

職業別にみて全体平均よりも10%以上高い項目は次のとおり。

農林漁業	「参加は、習慣となっている」
会社員	「どのような団体があるかわからない」 「活動時間を確保するのが難しい」
公務員	「どのような団体があるかわからない」 「定期的に参加したり、長続きさせるのが難しい」 「参加するきっかけがない」 「活動時間を確保するのが難しい」 「身近に実践できる場がない」 「環境に関する知識が深まった」
団体職員	「活動時間を確保するのが難しい」 「人間関係が難しい」
学生	「さまざまな人との交流が深まった」 「環境保全のために、自分にできることである」 「定期的に参加したり、長続きさせるのが難しい」 「参加するきっかけがない」 「活動時間を確保するのが難しい」 「身近に実践できる場がない」 「参加して自分に何ができるかわからない」 「参加可能な団体がない」 「参加しても効果を実感できない」

パート・アルバイト「活動時間を確保するのが難しい」

地域別では、北海道・東北で「定期的に参加したり、長続きさせるのが難しい」(72%)、北陸で「環境保全のために自分でできることである」(80%)「一社会人として参加した方がよいと思う」(82%)、東海で「環境保全のために、自分でできることである」(80%)「参加可能な団体がない」(56%)という意識がやや強くなっている。

都市規模別では、政令指定都市で「定期的に参加したり、長続きさせるのが難しい」(73%)「参加するきっかけがない」(74%)「参加可能な団体が無い」(53%)、町村部で「一社会人として参加した方がよいと思う」(80%)という意識が比較的強い。

【図表 6-6-2】環境保全活動を行う民間団体への参加意識（性別、年齢別、職業別：複数回答）

単位：%

	性別			年齢別							職業別												
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他		
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36		
環境保全のために、自分にできることである	74.0	76.3	72.7	78.9	76.9	80.3	79.1	71.8	56.0	72.1	69.7	82.9	64.0	77.6	76.9	75.0	93.3	78.4	72.0	71.6	66.6		
一社会人として参加した方がよいと思う	72.9	74.5	71.9	70.2	68.9	77.1	75.2	76.1	63.2	69.8	75.8	75.6	64.0	74.2	75.4	70.0	80.0	74.4	71.5	70.4	75.0		
どのような団体があるか分からない	67.6	67.0	68.6	88.5	88.1	85.7	69.4	55.3	31.5	44.2	66.7	63.5	64.0	77.2	83.1	65.0	86.7	71.2	72.4	49.7	50.0		
定期的に参加したり、長続きさせるのがむずかしい	67.1	65.5	69.6	88.5	86.7	83.0	70.4	54.6	33.5	60.5	71.8	63.4	68.0	76.0	81.5	75.0	100.0	75.2	65.5	45.9	58.3		
参加するきっかけがない	63.8	61.9	66.1	85.6	83.4	80.3	67.5	49.3	30.3	34.9	60.6	51.2	68.0	72.0	87.7	60.0	86.7	71.2	67.2	48.1	44.5		
活動時間を確保するのがむずかしい	61.1	61.4	61.7	86.6	86.1	81.4	64.2	41.9	25.6	53.5	68.7	58.5	60.0	77.6	81.5	75.0	93.3	73.6	50.4	29.0	61.1		
身近に実践できる場がない	50.2	50.7	50.5	71.2	69.5	59.0	46.9	43.0	27.7	32.5	53.5	34.2	52.0	58.5	66.2	35.0	73.4	48.0	52.2	41.0	33.4		
環境に関する知識が深まった	49.8	51.7	48.9	41.3	43.7	55.9	56.0	51.4	40.1	53.5	43.5	41.5	56.0	50.5	63.1	55.0	40.0	50.4	50.5	48.7	52.8		
参加して、自分に何ができるかわからない	47.3	47.4	48.0	60.6	60.2	61.7	46.9	38.0	28.3	34.9	48.5	31.7	32.0	51.2	50.7	50.0	80.0	52.0	51.7	40.9	36.1		
参加可能な団体がない	46.7	47.2	47.2	56.7	57.6	55.3	51.8	38.4	26.9	37.2	46.4	29.3	40.0	49.9	53.9	45.0	73.3	50.4	51.3	39.4	47.3		
人間関係がむずかしい(むずかしそうだ)	43.1	41.9	44.9	64.4	53.0	54.8	43.7	35.9	18.4	34.9	43.4	48.8	28.0	46.9	58.5	55.0	53.3	49.6	44.8	29.5	30.6		
趣旨に賛同できる団体がない	41.1	42.2	40.5	50.9	45.7	46.8	46.0	35.3	25.0	32.6	39.4	36.6	40.0	47.5	47.7	30.0	33.3	39.2	45.7	33.3	30.5		
参加しても効果を実感できない	37.4	41.1	34.0	47.1	38.4	47.4	39.8	32.0	23.0	39.6	46.5	36.6	40.0	40.5	40.0	30.0	53.3	42.4	32.3	30.6	30.6		
さまざまな人との交流が深まった	35.3	37.0	34.2	30.8	32.5	43.1	34.2	36.9	30.9	41.9	31.3	39.1	28.0	36.4	43.1	50.0	26.7	34.4	34.0	34.4	33.3		
参加は、習慣となっている	19.3	20.7	17.7	8.7	8.6	17.6	19.6	28.1	21.1	30.2	18.2	22.0	24.0	15.0	13.8	25.0	-	18.4	21.6	24.0	16.7		
家計の圧迫につながる	19.1	19.5	18.7	22.1	21.2	28.2	17.3	18.3	8.5	21.0	25.2	7.3	24.0	18.4	23.1	25.0	26.7	27.2	16.4	14.8	16.7		
家族・友人・知人・勤務先など、周囲の人から勧められる	15.6	16.9	14.1	7.7	9.3	16.5	17.0	20.1	13.9	23.3	14.1	17.0	12.0	15.4	12.3	15.0	6.7	18.4	12.9	18.0	13.9		

【図表 6-6-3】環境保全活動を行う民間団体への参加意識（地域別、都市規模別：複数回答）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全のために、自分にできることである	74.0	72.4	71.1	80.3	79.7	72.9	73.2	75.9	74.3	74.5	73.0	76.4
一社会人として参加した方がよいと思う	72.9	76.7	70.6	81.8	74.3	71.9	66.3	75.2	71.0	73.1	69.8	80.2
どのような団体があるか分からない	67.6	66.8	67.5	60.6	72.4	69.1	69.0	67.7	72.1	65.5	67.9	69.8
定期的に参加したり、長続きさせるのがむずかしい	67.1	72.4	67.0	66.6	71.3	65.8	67.2	68.4	72.7	68.1	66.9	67.9
参加するきっかけがない	63.8	65.6	64.6	53.0	64.1	67.4	64.7	64.6	74.3	62.9	60.8	64.2
活動時間を確保するのがむずかしい	61.1	59.6	56.9	59.1	63.5	62.4	62.9	68.5	63.1	58.1	62.1	65.1
身近に実践できる場がない	50.2	48.4	53.6	39.4	52.1	52.0	50.8	54.9	53.7	48.5	53.1	50.9
環境に関する知識が深まった	49.8	51.5	54.1	45.4	52.1	46.9	40.5	53.4	48.6	50.5	50.5	49.6
参加して、自分に何ができるかわからない	47.3	50.9	47.7	40.9	44.9	53.1	46.5	46.6	48.6	49.7	45.3	48.6
参加可能な団体がない	46.7	48.5	47.3	36.4	55.7	44.8	43.1	48.9	52.5	43.9	47.6	48.6
人間関係がむずかしい(むずかしそうだ)	43.1	41.7	43.1	42.4	45.5	44.7	44.9	39.8	46.4	38.6	42.4	49.5
趣旨に賛同できる団体がない	41.1	44.1	41.7	36.4	43.1	43.7	39.6	38.4	43.6	42.1	40.2	41.5
参加しても効果を実感できない	37.4	38.7	36.3	34.9	41.3	37.0	36.2	36.9	39.1	37.1	35.7	39.6
さまざまな人との交流が深まった	35.3	36.2	35.7	36.4	35.3	34.3	31.9	36.8	31.8	36.8	36.7	33.5
参加は、習慣となっている	19.3	17.8	24.3	24.2	18.6	17.2	16.4	18.0	24.1	19.0	17.0	19.8
家計の圧迫につながる	19.1	22.1	19.2	15.2	15.6	19.3	18.1	24.1	19.6	16.1	20.9	22.2
家族・友人・知人・勤務先など、周囲の人から勧められる	15.6	12.3	16.1	19.7	19.8	11.1	15.5	17.3	16.7	14.4	16.1	15.5